

C 2020/6/28(日) 9:50-12:50 (受付開始 9:00)

がんゲノム医療におけるチームアプローチと遺伝カウンセリング / がんゲノム医療における薬剤師の役割

講座情報

「がんゲノム医療におけるチームアプローチと遺伝カウンセリング」

武田 祐子

がん領域においては、がんの発生に関する分子レベルでの機序の解明と共に、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬の開発が急速に進んでいる。遺伝子の変異(バリエーション)に基づいて診断・治療を行うゲノム医療の実装化が進み、個別化医療が推進され、コンパニオン診断やがん遺伝子パネル検査が保険医療として実施されるようになった。

ゲノム情報の活用では、その意味や意義を理解した上で意思決定していくことが大切であり、ゲノム医療を担う多職種の人材育成が急務とされている。また、遺伝に関わる情報が潜在することから、その不変性、予測性、共有性といった特徴に関する情報提供や、支援体制の充実が不可欠である。がんゲノム医療におけるチームアプローチと遺伝カウンセリングの現状と課題について述べる。

「がんゲノム医療における薬剤師の役割」

米村 雅人

昨今、がんゲノム情報に基づいたがん薬物治療が保険診療として導入されはじめ、これまでの抗がん薬とは全く異なるアプローチから、がん治療戦略が立てられるようになってきた。しかし、現時点におけるがんゲノム医療による治療の恩恵を受けることができる患者は、がんに関する遺伝子変異検査を実施した患者のうち、10～20%程度である。臨床的な側面の問題もさることながら、保険診療上の問題も含まれ、臨床現場の薬剤師として、様々な側面から問題解決を図ることが求められている。現時点の問題を共有しつつ、聴講される先生方と解決の糸口を探していきたいと考えています。

講演者情報

「がんゲノム医療におけるチームアプローチと遺伝カウンセリング」

武田 祐子

慶應義塾大学看護医療学部 学部長/大学院健康マネジメント研究科 教授

プロフィール

千葉大学看護学部看護学科を1981年に卒業後、国立がんセンター 看護師、千葉大学看護学部の助手として勤務。

東京医科歯科大学大学院医学系研究科に1994年入学、2000年に博士後期課程を修了した(博士(看護学))。

2001年に慶應義塾大学看護医療学部助教授として就任し、2005年より同大学看護医療学部/大学院健康マネジメント研究科教授として現在に至る。

2019年10月より看護医療学部長。大学院では遺伝看護専門看護師の育成に携わる。

また、1995年より家族性大腸腺腫症の患者・家族を対象とした遺伝相談を開始し、2002年より慶應義塾大学病院臨床遺伝学センター外来スタッフ(看護師)として現在に至る。

参考サイト

日本医学会(2011)「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」

<http://jams.med.or.jp/guideline/genetics-diagnosis.pdf>

内閣官房 健康・医療戦略室(2018)「ゲノム医療実現推進に関するアドバイザリーボード平成 29 年度報告」

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryuu/genome/pdf/180508_houkoku.pdf

パンフレット「がん遺伝子パネル検査」を検討する方にご理解いただきたいこと」

https://www.ncc.go.jp/jp/c_cat/c-cat_pamphlet_A_outline.pdf

「ゲノム医療における情報伝達プロセスに関する提言—がん遺伝子パネル検査と生殖細胞系列全ゲノム／全エクソーム解析について—(初版)」

<https://www.amed.go.jp/content/000031253.pdf>

「がんゲノム医療における薬剤師の役割」

米村 雅人

国立がん研究センター東病院 薬剤部 副薬剤部長

プロフィール

1998 年 3 月	明治薬科大学薬学部製薬学科 卒業
2000 年 3 月	千葉大学大学院医療薬学専攻 博士前期課程 薬物治療学講座修了
2000 年 4 月	国立病院機構東京災害医療センター薬剤科 入職
2002 年 4 月	国立がんセンター中央病院薬剤部 異動
2009 年 4 月	国立がん研究センター東病院薬剤部 薬務主任 昇任
2012 年 3 月	明治薬科大学大学院薬学専攻 臨床薬剤学 博士(臨床薬学)取得
2013 年 7 月	医薬品医療機器総合機構 新薬審査第五部、安全第 2 部 出向
2015 年 2 月	国立がん研究センター東病院臨床研究支援部門安全管理室長 復職
2019 年 4 月	国立がん研究センター東病院薬剤部 副薬剤部長 現在に至る

<資格>

博士(臨床薬学)

日本医療薬学会認定 がん指導薬剤師、がん専門薬剤師

日本病院薬剤師会認定 がん薬物療法認定薬剤師

<所属学会等>

日本臨床腫瘍薬学会 理事、教育研修委員会委員長

日本医療薬学会代議員、がん専門薬剤師認定制度委員会委員

日本癌治療学会評議員(薬学)

日本病院薬剤師会 学術第2小委員会委員、臨床研究倫理審査委員会委員

日本がん・生殖医療学会 理事

日本臨床腫瘍学会 がんゲノム医療コーディネーター養成委員会委員

主要著書

抗がん薬調製マニュアル第3版、第4版 じほう社(日本病院薬剤師会監修)

小児、思春期・若年がん患者の妊孕性温存に関する診療ガイドライン 2017年度版、日本癌治療学会編 等

参考サイト

国立がん研究センター東病院薬剤部 HP URL:<https://www.ncc.go.jp/jp/ncce/division/pharmacy/index.html>